

職員による自己評価

A環境面
活動スペースは十分ある
職員の配置数は適切である

B児童への支援内容
活動プログラムなど満足頂けてる
障害のない子との活動の機会がない

C関係機関との連携
学校との情報共有、連絡調整を適切におこなっている

D保護者への説明責任・信頼関係
相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている

E非常対応
定期的に避難訓練を行っている

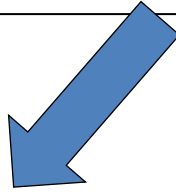
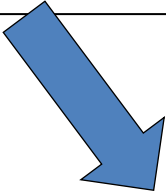
保護者による評価

A環境面
職員配置等の基準が分かりにくい
以前は、児童発達管理責任者が数ヶ月で入替るなど不安はあったが、今は安心して相談できる。

B児童への支援内容
活動プログラムなどには満足している。子供たちは楽しく参加している。
子供の支援について、職員間で共有不足と感じる部分もある。

C事業所からの情報発信
保護者会の開催はされていない
何度か個別の配布物で誤配布があった

D非常対応
事業所の各種マニュアル等が存在していたことを知らなかった。
避難訓練等を行ったことは、ホームページ等を通して知っていた。



事業所内での分析

【共通点】

活動プログラムについては、職員間で十分に検討された内容で、職員と保護者の認識も同じである。児童一人一人の特性や状況について、職員間で共有されている。また、学校での様子についても情報共有はできている。
定期的に面談を実施することで、保護者の困りごとや今後の課題や目標について把握することができ、同じベクトルで児童に対応することができた。

【相違点】

職員の配置等の基準が分かりにくい部分があるので、今後簡易的で構わないので教えて欲しい。
児童の個々に対して、細かな部分の共有が足りていないことがあった。
個人情報の取扱いについて、注意が不足していると感じることがあった。
事業所で策定している各種マニュアルの存在を、周知・説明がしきれていなかった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

活動プログラムについては、児童や保護者から非常に満足しているとの声をいただいている。

社内での研修制度が確立されており、障害に対する理解や児童に対する対応力が向上している。

市内で4店舗運営しており、有事の際に職員同士が連携を取り、利用者に迷惑を掛けないようにサービス提供を行うことができる。

事業所の改善点

大きな部分で職員間での情報共有はできているが、細かい部分で共有方法や伝達手段に課題が残る。

保護者に対する情報発信について、保護者により満足度を上げてもらう取組が必要。

苦情・要望に対して職員間での情報共有に差があるので、起こった事象に対して共通認識で対応する必要がある。

事業所の改善への取り組み

この2年間はコロナ禍でもあり、保護者の皆さまに対して事業所でのお子さまの様子を見ていただくことが難しい状況でした。このような状況下で、弊社では社内インフラを構築してオンラインで保護者の皆さまに実績をいただいたり、日頃の活動の写真や動画を提供することで、従来以上のサービス向上に努めてきました。一定の効果はあったものの、事業所として職員の情報共有や個人情報の取扱いについては、今後の課題とするところであります。

社内研修や社外研修も取入れ、今後とも職員のレベル向上に努めていきたいと思っております。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所としては、満足いただけるサービス提供とを感じる点でも、保護者の立場からすると不十分な点もあることを再認識する機会となりました。日頃より、サービス提供を受ける側の視点に立つことを忘れずに取り組んでいきたいと考えています。

事業所名 放課後デイサービスもみじのて KIDS 鶴見

管理者 澤村 裕子